「令和5年度 学校教育に関するアンケート(学校の教育活動全般にかかわる評価)」について

日頃は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、過日ご協力をいただきました「令和5年度 学校教育に関するアンケート(学校の教育活動全般にかかわる評価)」と、本校で実施した「児童アンケート」ならびに「教職員アンケート」の結果をもとに、下記のように「本校における教育活動に関する評価」をまとめました。今後も、皆様からいただいたご指摘等を踏まえ、次年度に向けて、本校の教育活動の改善に生かしてまいりたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

1 評価の判断基準について

4 = そう思う	3 = だいたいそう思う
2 = あまりそう思わない	1 = そう思わない

の回答に対して

① 「4」 > 50%
② 「4」 + 「3」 ≥ 80%
③ 「2」 + 「1」 ≤ 10%

①～③の条件を

「◎」…すべて満たしているもの	「○」…2つ満たしているもの
「△」…1つ満たしているもの	「▲」…1つも満たしていないもの

で評価しました。

2 評価結果と改善策

	項目・質問 等	対象	平均	4	3	2	1	評価
1	学習指導（授業の理解・学力の向上） Q. 授業の内容を理解しているか。	児童	3.5	61%	33%	3%	3%	◎
		保護者	3.3	32%	68%	0%	0%	○
		教職員	3.3	38%	56%	6%	0%	○
改善策	○ 来年度も算数を中心に、TT 指導を継続して行い、児童が楽しく学校に通い、確かな学力が身につくよう努めていきます。 ○ 見通しが立つように、保護者や教職員に早めに伝えていくようにします。							
2	努力点（タブレットの技能） Q. タブレットの操作を理解しているか。	児童	3.7	79%	17%	4%	0%	◎
		保護者						
		教職員	3.2	38%	44%	18%	0%	○
3	努力点（タブレットの活用） Q. タブレットを活用しているか。	児童	3.6	73%	18%	8%	1%	◎
		保護者	3.1	31%	47%	22%	0%	△
		教職員	3.1	25%	56%	19%	0%	△
改善策	○ 今後もタブレットを便利なツールとして取り入れていけるように職員で使い方を共有・工夫したり、ICT 支援員を活用したりしながら、普段使いができるよう効果的な活用について考え続けていきます。 ○ 情報モラルやネットリテラシーについて日常の様々な場面で伝えたり、専門の外部講師を招いたりするなど学ぶ場を引き続き作っていきます。							
4	学校からの情報発信 Q. 子どもは学校での出来事を家で話し、学校は各種たよりを通して情報を分かりやすく伝えているか。	児童	3.5	62%	24%	12%	2%	△
		保護者	3.4	38%	61%	1%	0%	○
		教職員	3.2	25%	69%	6%	0%	○
改善策	○ 学校だよりの月予定レイアウトは変更しました。学校からの情報発信においては間違いを減らすために、複数の目で確認をしていきます。							
5	教育相談 Q. 困ったときに学校の先生に相談することができているか。	児童	3.1	42%	34%	14%	10%	△
		保護者	3.3	33%	64%	3%	0%	○
		教職員	3.1	6%	94%	0%	0%	○
改善策	○ スクールカウンセラー以外にも、子ども応援委員会とも連携して、児童が相談しやすい環境づくりを考えていきます。 ○ 児童とともに保護者とも話をし、児童の見取りに生かしていくために、個人懇談会の実施時期の見直しをしていきます。							
6	あいさつ Q. 学校の中や 登下校の時に、進んであいさつができているか。	児童	3.3	57%	27%	11%	5%	○
		保護者	3.4	46%	47%	7%	0%	○
		教職員	3.2	32%	38%	13%	0%	△
改善策	○ 子どもたちはもちろんのこと、教職員も日ごろからあいさつをしっかりと、児童の模範となるように努めていきます。							

	項目・質問 等	対象	平均	4	3	2	1	評価
7	言葉遣い Q. 言葉遣いに気を付けて生活しているか。	児童	3.4	57%	33%	7%	3%	○
		保護者	2.9	18%	57%	24%	1%	▲
		教職員	3.4	50%	44%	0%	6%	○
改善策	○ 集団生活における他者への心遣いやマナーについて、児童が分かるように継続した指導を行う。各教科、道徳などの授業の中での指導だけではなく、学校の日常の生活において言葉遣いについて取り上げて継続して指導していくように努めていきます。							
8	はじめある生活 Q. きめられたルールを守り、学校生活を送っているか。	児童	3.6	65%	31%	3%	1%	◎
		保護者	3.3	41%	57%	1%	1%	○
		教職員	3.6	50%	38%	12%	0%	△
改善策	○ 学校のルールについては、年度初めだけではなく、学校だよりなどを利用し家庭へ周知したり、児童へ声掛けをしたりしていきます。 ○ 月に1回の会議以外でも、適宜相談しながら安心安全な学校生活が送れるように、統一した指導、継続した指導を心掛けます。また報告・連絡・相談を徹底していきます。							
9	いじめのない学校づくり Q. 学級・学校は楽しいか。	児童	3.5	69%	19%	7%	5%	◎
		保護者	3.4	41%	56%	3%	0%	○
		教職員	3.4	44%	50%	6%	0%	○
改善策	○ 複数の目で見守りながら、些細なことでも報告相談をして、学校全体で比良西の子を育てていきます。							
10	特別活動 Q. 学校行事や児童会・ペア活動・委員会活動・クラブ活動を大切にしているか。	児童	3.6	65%	32%	3%	0%	◎
		保護者	3.2	31%	64%	5%	0%	○
		教職員	3.4	38%	62%	0%	0%	○
改善策	○ ペア活動は児童の主体性を考えながら、お互いに高めあうことができるよう指導助言をしていきます。 ○ 児童の声に耳を傾け、きめ細かく指導していきます。							
11	安全衛生 Q. 学校は、安全に関する指導や行事を、十分かつ有効に行っているか。	児童	3.6	75%	19%	4%	2%	◎
		保護者	3.5	47%	52%	1%	0%	○
		教職員	3.0	19%	63%	19%	0%	△
改善策	○ 週間課程を工夫し、清掃の時間を確保できるように進めていきます。 ○ 病気やけがが起きたときの対応だけではなく、WBGT の活用した暑さへの対応や事故防止のための指導人員確保など未然防止のための取り組みを進めていきます。							
12	情報管理 Q. 個人情報に関して適切に管理しているか。	児童						
		保護者	3.5	46%	54%	0%	0%	○
		教職員	3.6	31%	31%	6%	0%	◎
改善策	○ 今後も個人情報管理を徹底するとともに、情報管理への意識を高めるよう努めていきます。							

3 その他

- 修学旅行、中津川と保護者が来校せずに済むよう、オンデマンドによる説明会を実施することを検討していこうと考えています。
- 今年度、インフルエンザ等が流行したときに行事が重なりました。そのときの状況に合わせ、最善をつくし臨機応変に対応していきたいと思ひます。

4 学校評議委員から

昨年度と比較して、ほぼコロナ前と同じような、様々な活動に取り組んでもらえたのは良かった。また、授業中に子どもたちがタブレットを使いこなしている。ICT機器はこれからの将来に必要な道具であるため、どんどん活用してもらいたい。学区のホームページも作成予定のため、学校と連携していけるとよい。また、学校内で起こったトラブルや指導内容・注意喚起を知らせるようにして、学校・家庭・地域全体で子どもたちを見守って、楽しく充実した学校生活を送ることができるようをお願いしたい。